

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	アジア諸国との交流事業	事業番号	008-026
担当部署名	文化観光	局	文化国際
		部	国際
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.14 ,17.16	
		有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市国際化方針		
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検対象年度	令和 7 年度

4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	
---	-----------------	--

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市及び実行委員会		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	【堺側】アセアン各国と交流がある、または交流を望む企業・団体・学校等を含む堺市民 【アセアン側】日本語、日本文化を学んでいるなど日本に強い関心を持つ市民。特に将来のナショナルリーダーとなりうる学生	対象数	単位
			—	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	①多文化共生のまちづくりの推進、②アセアン各国との交流を通して、国際感覚豊かな人材育成を図る、③アセアン各国との経済・文化・観光・教育・環境等各分野での相互交流を促進する、④堺市のPR・プロモーション及び海外人材とのネットワークを形成することにより、アフターコロナにおける、世界の人々が行き交い、来堺者が増加し、にぎわいあふれる国際都市をめざす。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ●堺市所管事業 ①ダナン市友好都市交流事業（日本語学生、伝統文化、介護等各分野でのオンライン交流）、②外国公館（在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館）連携事業 ●堺・アセアンウィーク実行委員会事業 ①アセアン各国とのオンライン交流（小〜大学各世代の年間を通じた交流）、②関西圏在住の留学生や社会人を講師として市内校に派遣する出前講座を実施、③アセアン諸国の風景、歴史的建造物や文化的催しなどを撮影した写真を公募（コンテスト）し、表彰作品を展示する、④他団体主催の催しへ参画し、アセアンの音楽・舞踊等の伝統文化を紹介、⑤語学・料理・工芸等の各国文化講座の開催、⑥アセアン各国の映画上映会の開催、⑦堺とアセアンの繋がりや、堺とアセアン諸国の交流史、堺の伝統文化等をPRする英語版及び日本語版広報ツールを作成し、国際都市・堺の魅力を発信。 ●共通事業 ①HP及びfacebook等のSNSを通じた情報発信・PR 		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺・アセアンウィーク実行委員会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度	
11	アセアン諸国との交流事業参加者数	人	目標値	2,000	2,500	3,000	5,000
			実績値	2,042	3,301		
			達成率	102%	132%		
当該指標を選定した理由		友好都市ダナン市やアセアン諸国等との幅広い分野での国際交流推進の指標となるため					
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナ禍により、令和3年度から交流手法をオンライン主軸に変更した。 【目標】ダナン市友好都市交流及び実行委員会事業における交流者数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	回	目標値	30	35	40	
			実績値	40	50		
			達成率	133%	143%		
当該指標を選定した理由		友好都市ダナン市やアセアン諸国等との幅広い分野での国際交流推進の指標となるため					
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナ禍により、令和3年度から交流手法をオンライン主軸に変更した。 【目標】ダナン市友好都市交流及び実行委員会事業における交流事業開催数					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	アジア諸国との交流事業	事業番号	008-026
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	13,297	13,487	6,318	3,325	9,143
13 財源内訳	国支出金	1,757	0	0	0
	府支出金		0	0	0
	市債		0	0	0
	その他 (国際交流事業指定寄附金)		0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0	0	0
	一般財源	11,540	13,487	6,318	3,325
14 人件費 (b)	32,800	32,800	46,100	42,500	24,395
15 年間経費(c)=(a)+(b)	46,097	46,287	52,418	45,825	33,538

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	決算		
16 事業費内訳	謝礼金	R4	260	260	筆耕翻訳料	R4	229	229
		R5	361	361		R5	360	360
	費用弁償 (その他)	R4	26	26	会場等借上料	R4	257	257
		R5	119	119		R5	700	700
	普通旅費	R4	52	52	堺・アセアンウィーク開催負担金	R4	2,319	2,319
		R5	161	161		R5	3,500	3,500
	消耗品費	R4	21	21	研修会等参加負担金	R4	11	11
		R5	167	167		R5	29	29
	通信運搬費	R4	123	123	その他	R4	27	27
		R5	630	630		R5	3,116	3,116

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① アセアン諸国との交流事業参加者数	人	2,042	3,301
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,555	3,325
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	762	1,007
備考 (算出についての説明等)		※年間経費に人件費は含まない	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度に引き続き、オンライン交流を主軸にしなが、新型コロナ禍においても国際交流を通年で行えるような事業構築を行った。これにより、友好都市であるベトナム・ダナン市やアセアン諸国との交流において、交流回数及び交流者数の増加へ繋げることができた。また、新型コロナウイルス感染症が一定落ち着きを見せ始めたことから、対面での交流事業も開催したことで、アセアン諸国の魅力を体感できる交流機会の創出に繋げることができた。

なお、「Ⅳ.事業の効率性」の単位当たりの経費においては、前年度に比べ約30%増加している。これは、年間を通したオンラインを中心とした事業実施のための諸経費（堺・アセアンウィーク開催負担金）が増加したことによるものである。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 令和3年度策定の「堺市国際化方針」に基づき、友好都市であるベトナム・ダナン市やアセアン諸国との幅広い分野での国際交流を推進した。また、市民生活や学校教育の中で、国際感覚を身につける機会の提供や異文化理解を促進するため、国際社会や地域で活躍できる、グローバルな視点を持った次世代の人材育成につながる施策を企画、実施し、国際交流の強化に寄与した。